

東北の地域観光資源を活用した滞在型観光の創造

東北地域資源活用観光創造事業推進協議会
(事務局 株式会社 百戦錬磨)



■ 事業コンセプト

東北の地域資源を活用した滞在型観光ビジネスモデルを確立する

■ 事業体制

東北地域資源活用観光創造事業推進協議会を設立し、事業推進

東北地域資源活用観光創造事業推進協議会

```
graph TD; A[東北地域資源活用観光創造事業推進協議会] --- B[日本観光振興協会]; A --- C[東北観光推進機構]; A --- D[株式会社  
ダイヤモンド・ビッグ社]; A --- E[株式会社百戦錬磨  
(事務局)]; A --- F[とまれる株式会社];
```

日本観光振興協会

東北観光推進機構

株式会社
ダイヤモンド・ビッグ社

株式会社百戦錬磨
(事務局)

とまれる株式会社

■ 事業目的・意義

- 教育（団体）旅行 → 個人旅行者の受入拡大
- 首都圏在住者 → 地域(田舎)の魅力を体感
- 通常旅行 → 交流観光、移住・定住へ

■ 実施内容

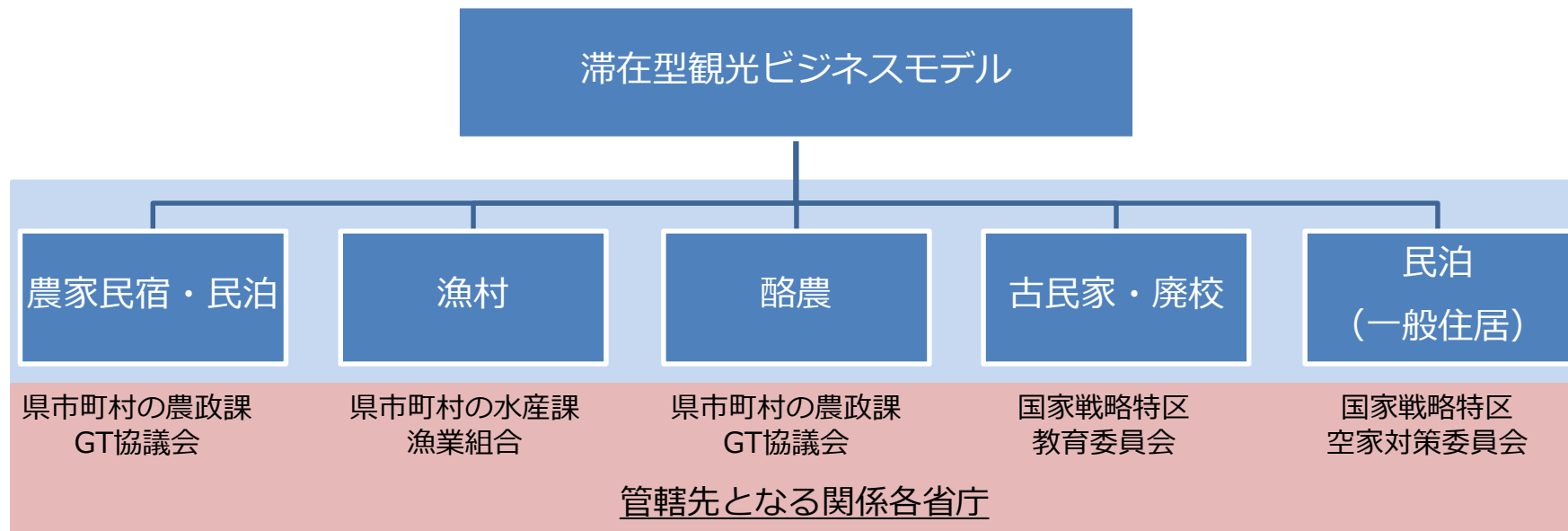
(1) 実態調査

- ・農村漁家の民宿、古民家等の地域資源実態把握調査
- ・本事業のモデルエリアの選定（10エリア対象）

(2) 滞在型観光促進事業

- ・ワークショップやディスカッションの定期開催
- ・ITを活用した販売に向けた研修会の実施

■ 滞在型観光素材の推進カテゴリー



■ 法律要素

1. 旅館業の取得
2. 行政による緩和施策
3. 30日以上の宿泊を義務付 (賃貸借契約)
※上記いずれかを満たす受入先を対象とする

■ 旅行から交流へ

本物志向のユーザーが、
交流体験や生活体験といった深い旅行を求める傾向へ

バーチャルの動き

リアルの動き

知る

調べる

行く

体験する

関係づくり

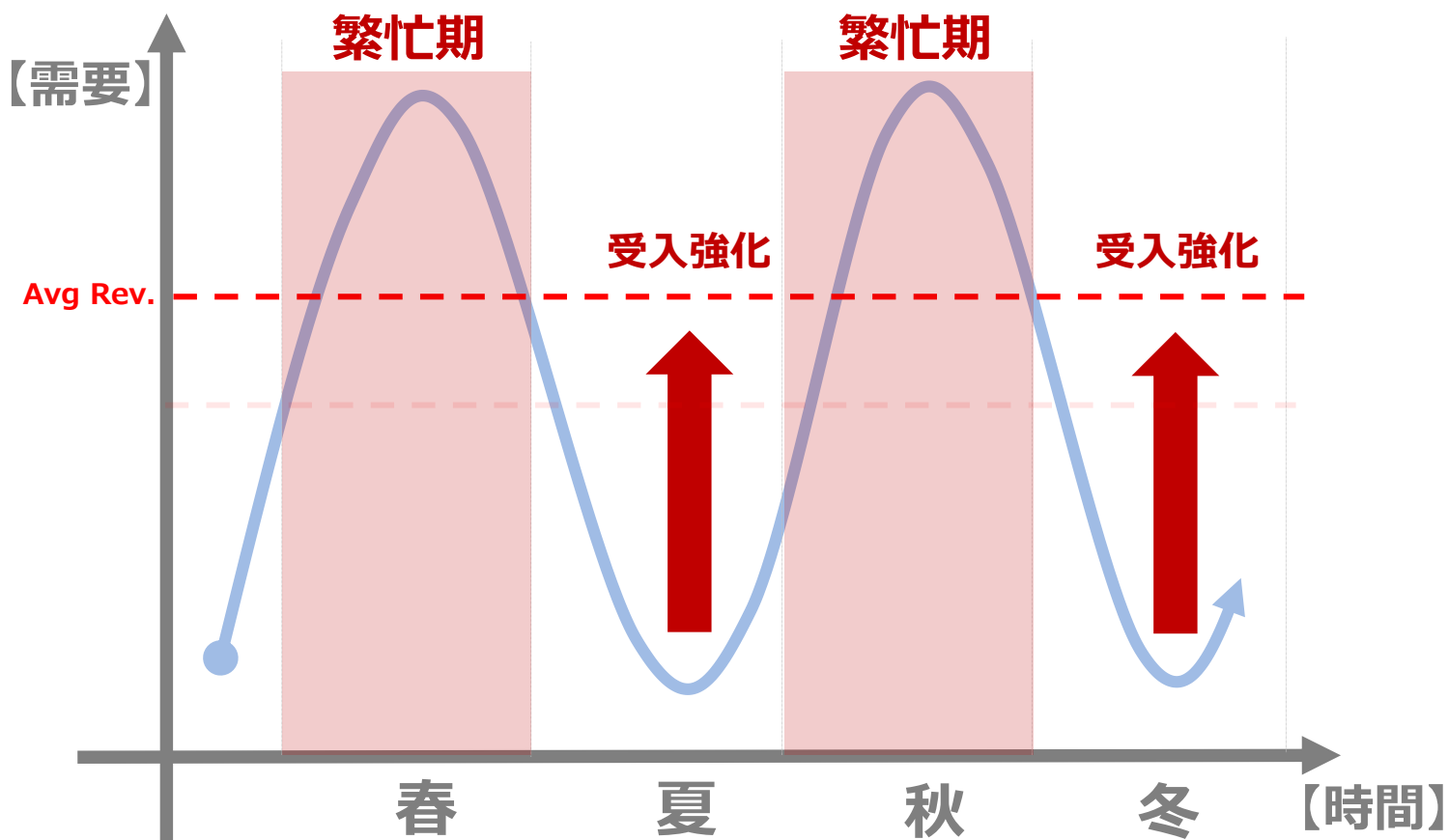
住みたい

通常の旅行

農林漁家民宿

■ 新たな需要を受け入れる

- ・ 教育旅行の受入がない時期に個人客の取り込みを実施
- ・ イベント等で需要の見込める時期に受入強化を図る



■ 調査実施・モデルエリア

赤字：モデルエリア認定 12エリア

【岩手県】 一関市、久慈市、洋野町、葛巻町、遠野市、平泉町
奥州市、雫石町、田野畑村、野田村、住田町

【宮城県】 気仙沼市、南三陸町
加美町、栗原市、山元町、名取市、蔵王町、石巻市

【福島県】 二本松市、喜多方市、郡山市、南会津郡
坂下町、只見町、天栄村

■ 実績・成果

- GT協議会と連携し、地域主導の販売管理と情報発信体制確立
- 特需受入できる滞在施設開拓、地域経済向上に繋がる土台構築

■ とまりーな ～お気に入りの田舎を見つけよう～



東北エリア100施設の登録
<http://tomarina.com/>

- ・ 訪日外国人2,000万人誘致（2020年）
- ・ 東京オリンピック開催（2020年）
- ・ 各地季節イベント（お祭り、スポーツ大会等）

コンサート



花火大会



インバウンド



オリンピック



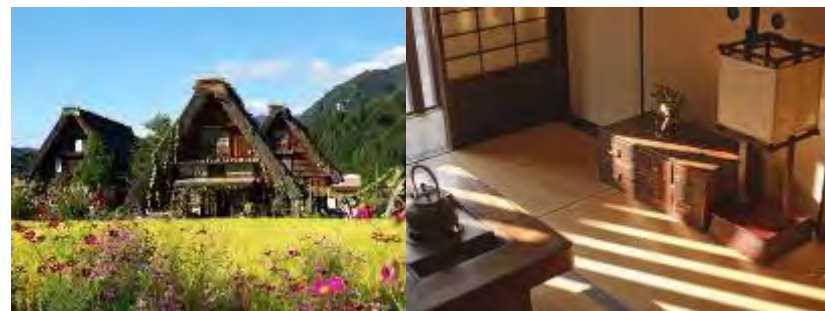
受け入れ先（宿泊施設）の枯渇

地方の滞在型観光資源をさらに拡大（全国展開）



農業・漁村・酪農・林業
TPP時代のビジネスモデル

古民家・町家・合掌造り
各地の日本文化資産の活用



廃校・空き家
地域に眠る資産の利活用